

インクジェット用

手作りマグネットステッカー(A4) Ver.1.1

この度は、サンワサプライのインクジェット用手作りマグネットステッカーをご購入いただき、誠にありがとうございます。この製品は、インクジェットプリンターで印刷後、UVカットフィルム、マグネットシートと貼り合わせて、マグネットステッカーが手作りできるキットです。この製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

準備するもの

セット内容



インクジェット用
ホワイトフィルムシール
(A4サイズ)
※この用紙に印刷します。

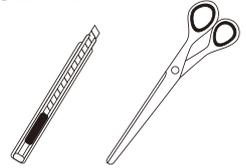


UVカットフィルム
(A4サイズ)
※こちらには印刷できません。



特厚マグネットシート
(A4ノビ)
※こちらには印刷できません。

ご用意いただくもの



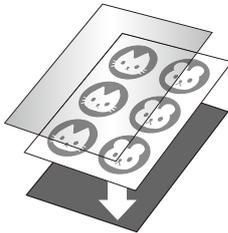
カッター or はさみ

使用方法

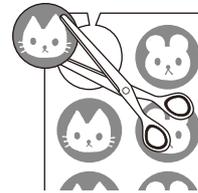
おおまかな作業の流れ



インクジェット用
ホワイトフィルムシールに
印刷する。
(十分に乾燥させる)
→ 詳しくは **1** へ



マグネットシートに印刷したシールと
UVカットフィルムを貼り合わせる。
(マグネットシートの裏表に注意!)
→ 詳しくは **2 3** へ



好きな形に切って
出来上がり
→ 詳しくは **4** へ

1 ステッカーのデザインをして、ホワイトフィルムシールに印刷をします。

デザインする インクジェット用ホワイトフィルムシールは、A4サイズの定型なので好きな柄、イラスト、写真を配置してデザインしてください。

●このフィルムは湿気を吸いやすい性質がありますので、使用直前まで袋から出さないようにしてください。

印刷する

- 1) このシールには裏表があります。光沢のある面が表面で印刷面です。印刷面がプリンターのノズル部分にくるように用紙をセットしてください。
 - 2) 静電気が原因で一度に2~3枚給紙されるのを防ぐため、用紙は1枚1枚給紙してください。(プリンターの機種によっては、厚紙モードで使用してください)
 - 3) 使用するプリンターの機種によりわずかに濃淡の差がでることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。
 - 4) 目的に応じたより高品質な出力結果を得るために、プリンター各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度などを調節してください。
 - 5) 半日~1日以上、十分に乾燥させてください。
- ※用紙の表面はすぐ乾きますが、用紙内部のインクの十分な乾燥には時間がかかります。乾燥が不十分な状態でUVカットフィルムを貼ると、ニジミの生じる恐れがあります。

裏表 向きにご注意



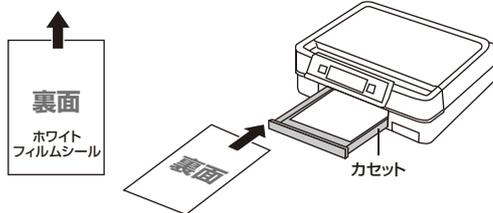
※光沢のある面が印刷面(表面)で、
光沢のない面が裏面です。

<用紙の給紙の仕方>

プリンターが前面給紙か背面給紙かによって用紙のセットの仕方が異なりますので、ご注意ください。

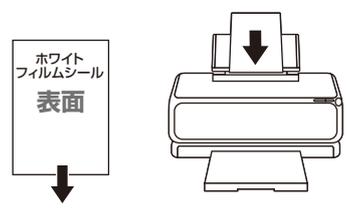
前面給紙の場合

ウラ面を上にして用紙をセットする。



背面給紙の場合

オモテ面を上にして用紙をセットする。



用紙設定・モード設定(例) 印刷の際には下記のモード設定でご使用いただくと良好な画像を得ることができます。

おすすめプリンター

エプソン EP-PX-PM-CCシリーズ、MJシリーズ
キヤノン PIXUS MG-MX-iPシリーズ

プリンター	用紙設定	印刷モード
エプソン	EPSON写真用紙	きれい
キヤノン	写真用紙 光沢	きれい

※顔料系インクを使用した場合、黒など濃度の高い色のベタ部分で油状の光沢感が出る場合があります。また、印刷直後に印刷した部分(特に黒など色の濃い部分)をさわると、印刷内容がこすれたりはがれたりする恐れがあります。十分に乾燥させてください。機種によっては印字部分の光沢感が若干損なわれることがあります。

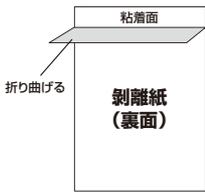
※フォトブラックインクとマットブラックインクの切替えができる機種は、フォトブラックインクを使用してください。マットブラックインクは使用できません。

続きは、裏面をご覧ください。➡

② ①で印刷し、十分に乾燥させたシールとマグネットシートを貼り合わせます。



印刷したインクジェット用ホワイトフィルムシールを準備します



剥離紙(裏面)の上部を少し剥がしておきます。
剥離紙(裏面)の端を少し折り曲げておくとシールをマグネットシートに貼り合わせやすくなります。
※このとき、他のものにシールが貼り付かないようご注意ください。
※印刷面は折り曲げないでください。

マグネットシートを準備します



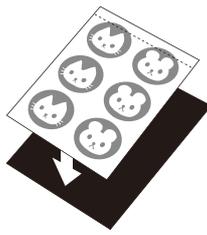
白い紙と一緒にマグネットシートを袋から取出します。白い紙がある方がシールの貼り付け面です。
マグネットシートには裏表があるので、袋から取出す時はご注意ください。
※白い紙は汚れ防止のために入っています。
※マグネットが強力なため、2シートくっついていますが、取出すときはご注意ください。



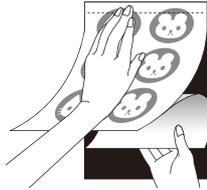
インクジェット用ホワイトフィルムシール + マグネットシートを貼り合わせます



白い紙をとりまわす。
マグネットシートの貼り付け面にゴミがないか確認します。



最初にはがした部分をマグネットシートの端に合わせて貼り付け、剥離紙を少しづつはがしながら気泡やシワが入らないようゆっくりシールを貼ります。※気泡がでにくい格子状の糊を使用しています。



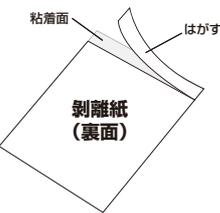
手でシールの上を汚れがつかないようになぞり、しっかりシールを貼り付けます。
※貼り合わせが不十分だと、シールがはかれる恐れがあります。



③ ②にUVカットフィルムを貼り合わせます。



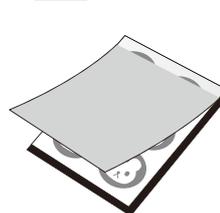
UVカットフィルムを準備します



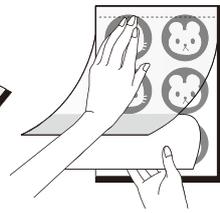
剥離紙(裏面)の上部の細いところをはがします



② + UVカットフィルムを貼り合わせます

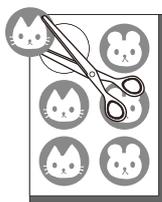


シールの端に位置を合わせて貼り付け、剥離紙を少しづつはがしながら気泡やシワが入らないようゆっくりUVカットフィルムを貼ります。
※気泡がでにくい格子状の糊を使用しています。



上からよくなぞってUVカットフィルムをしっかり貼り付けます。

④ 好きな形にカットして使用します。



★車やバイクなどに使用する時のご注意★

- 車種によりマグネットが貼り付きにくいことがあります。ご確認の上、ご使用ください。
- マグネットは曲面のある部分に貼らず、平滑面になるべく隙間がないようしっかりと貼り付けてください。
- マグネット面および貼る場所の汚れや水分は十分にふき取ってください。車内に埃がついたりマグネットの吸着力が悪くなりはがれやすくなる場合があります。
- 強力マグネットを使用しますが、マグネットの吸着は接着や機械的固定ではないため、吸着力以上の力が加わったり、しっかり吸着されていない状態で使用するると、容易に車面などから剥離・脱落する恐れがありますので、ご注意ください。
- 再塗装や特殊な塗装の車種では塗装が弱くはがれる恐れがあるので、降車時にはできるだけマグネットを取外してください。
- 屋外・高温下で用いる場合、長期間マグネットを貼ったままにせず定期的に剥離し、貼り場所を変えてください。(特に夏季は毎日剥離を推奨) またそのときは、マグネット面をきれいにしてください。マグネットがはがしにくくなったり、塗装面に汚れが発生したりする恐れがあります。
- 長期同じ場所にマグネットを貼ったままにしておくと、塗装面がはがれたり、また日焼けなどでマグネットを貼った部分と車面の色との間に隙が生じることがあります。
- 洗車や高速走行時、長期に車を放置するときは、マグネットを取外してください。
- マフラー、ラジエーター、エンジン部分など、特に熱を持つ部分には決して貼り付けしないでください。またフロントのボンネット部分への貼り付けもおすすめしません。
- 安全運転の妨げになったり、法律違反に反ったりするよう場所への貼り付けは決してしないでください。



使用上の注意

- <マグネットシート>
- ※絶対に口に入れてください。誤って飲み込んだ場合は嘔吐させ、医師に御相談ください。
 - ※マグネットシートを磁気テープ、フリペイドカード、切符などの磁気カード類、時計、ブラウン管などに近づけると、磁気記録が破壊・磁化されて使用できなくなることがありますので、ご注意ください。
 - ※マグネットシートに電磁石、希土類磁石、高圧電線などに近づけないでください。マグネットシートの磁力が弱され、減磁する場合があります。
 - ※マグネットシートの焼却処分はしないでください。排素ガスが発生します。廃棄処理は国及び自治体の法令に従ってください。
 - ※屋外使用や高温下など、特殊な状況下での使用、又は被着体の表面性(塗装の種類・塗装状態・表面状態など)により、マグネットシートがはがしにくくなったり、汚れが付着したりする恐れがあります。この予防のためのコーティング処理は行なっていませんが、どの状況においても完全に防ぐことはできませんので、予めご了承ください。
 - ※マグネットシートの裏面の粘着は、接着や機械的固定ではないため、吸着力以上の力が加わったり、端部などマグネットシート全体が吸着されていない状態で使用すると、被着体から剥離・脱落が容易に発生します。それによって、事故が発生することのないよう、設計用途にご注意ください。
- <インクジェット用シール>
- ※プリンターによって印刷可能領域が異なります。各種機の取扱説明書でご確認ください。
 - ※印刷前にシールをはがすことはプリンタートラブルの原因になりますのでお避けください。
 - ※印刷面をこすったり、傷ついたり、折り曲げたりはしないでください。
 - ※用紙が丸くカールしたり、シワにならないように取扱いください。万一、カールしたら必ずカールを直してから使用してください。
 - ※またこの時、用紙の表面が液状にならないようご注意ください。
 - ※万年筆や水性ペンで書くことにはお避けください。ご確認の上ご使用ください。
 - ※コピー機、レーザープリンター、ドットプリンター、熱転写プリンターなどインクジェットプリンター以外では使用できません。
 - ※水濡れや直射日光・経年変化により、印刷部分が変色することがあります。
 - ※プリンターの機種、印刷モード、インク・トナーのタイプなどにより、画像の色・画像の精細さが変わることがあります。
 - ※用紙は必要なだけ取出し、開封後はなるべく早くにお使いください。
- <UVカットフィルム>
- ※各プリンター、各種機によって、またインクの各色によって色落ち速度が違ったり全体の色調が変わる可能性がありますので、ご注意ください。
 - ※このUVカットフィルムによって、色あせ、変色の速度を遅らせることはできませんが、環境によりその効果は異なります。完全なものではないので、必要な書類などには使用しないでください。
 - ※以下の環境では十分な効果を発揮できないことがあります。
 - 例) 屋外での使用 ●直射日光のあたる場所 ●高温多湿の環境で印刷・保存した場合 ●薬品を使う環境

保管上の注意

- <共通>
- ※対応プリンター、使用方法など、ここに記載されている以外の方でご利用になられた場合に生じた不具合について、弊社では一切の責を負いかねます。予めご了承ください。
- <マグネットシート>
- ※マグネットシートは軟質ゴム磁石です。取扱いによっては、変形や傷が発生することがあります。使用の直前に袋から取出すようにし、凹凸がある場所での保管は避けてください。
 - ※保管場所は、高温多湿を避けてください。高温によるシートの変形が生じる場合があります。保管場所は温度30℃以下、湿度60%以下が適当です。
- <UVカットフィルム・インクジェット用シール>
- ※使用しない用紙は必ずニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がかららないようにして、水平に保管してください。
 - ※本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取替え、その他の補償はご容赦ください。
 - ※高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。
 - ※閉め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。
- ※万一製造上の不備がございました場合には、同数の新しい製品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

※本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取替え、その他の補償はご容赦ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告無しに変更することがありますのでご了承ください。

※記載の社名及び製品名は一般に各社の商標または登録商標です。



開封後はお早めにお使いください。